

令和3年度鮭川村前句付講座

皆さんは「前句付」をご存知でしょうか？五・七・五の俳句の形で生活や出来事について、季節を問わず自由に句を詠む手法です。昔は鮭川村内で広く楽しまれていましたが、現在では受け継ぐ方が少なくなっています。

この講座を通して、前句付の手法や詠み方に触れ、自分だけの「my 前句」を作って楽しみましょう。

期 日：第1回 令和3年11月 7日（日）
第2回 令和3年11月14日（日）
第3回 令和3年11月21日（日）

時 間：午前10時30分～正午

会 場：鮭川村中央公民館 3階・大研修室

講 師：鮭川村雅秀会

参加費：無料

持ち物：筆記用具



- 村民または村内にお勤めの方どなたでもご参加になれます。
- 下記の参加申込書に記入の上、鮭川村教育委員会までお申し込みください。
- 詳細は裏面をご覧ください。

☆締切：11月1日（月）

お問合せ
鮭川村教育委員会
電話：0233-55-3051
FAX：0233-55-3053

キリトリ✂

令和3年度鮭川村前句付講座 参加申込書

氏名	所属（学校・勤務先）
住所・連絡先	生年月日
住所： 電話： — —	年 月 日（ 歳）

第1回 「前句付」の歴史と作法を学ぶ

俳諧の一分野である「前句付」は、「つけ合い」とも呼ばれ、七・七の短句に五・七・五の長句をつけるものであり、七・七の短句をお題にし、その前につける五・七・五の長句を詠うものです。本来の俳諧や発句と違い、作法にあまりとらわれず、無季で滑稽な人事句を主眼としている、いわゆる生活そのものを表現できるということもあって、農村の共同体で人気を博し、農民文化として広がりを見せました。第1回では「前句付」の歴史や特色、手法などを先人たちが遺した句を用いながら学びます。

第2回 「前句付」に描かれた情景・心情を紐解く

「前句付」は季語にとらわれず、人々の生活を表現したものであることから、詠まれた時代背景や日常生活の出来事が如実に描かれています。例えば、曲川分校新校舎竣工記念奉額（鮭川村奉句集より）では、学ぶ子ども達の姿や期待を寄せる声などが詠まれており、新校舎が出来ることへの期待感と喜びが顕著に表れています。第2回では句に詠まれている時代背景や情景、人々の生活などを読み取るコツをつかみ、前句を作り、詠む際のヒントを学びます。

第3回 「前句付講座」句会

前句付の手法、詠み方など、2回に渡り学んできたことをもとに、第3回では講師の指導の下、前句を詠みます。出来た句をその場で披露し、作品の品評を行います。

～受講を希望される皆様へ～

- ①講座は1回のみ受講することもできますが、3回全てを受講されることを推奨します。
- ②講座の日程は変更になることがあります。変更日程は開講日1週間前までにお知らせいたします。
- ③新型コロナウイルスを含む感染症拡大防止の観点から、マスク着用等の感染予防対策をお願いいたします。
- ④御不明な点がございましたら下記まで御連絡ください。

鮭川村教育委員会 電話：0233-55-3051